

戦気 NO-32

Fighting Spirit

発行者:三谷大和
 編集者:岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



Misako Boxingjym Fight 45th 福本雄基 判定勝利!

7月23日、日本スーパーフライ級8位の福本雄基が第8試合に登場した。対戦相手は阿知和賢選手(6勝1KO4敗2分:ワタナベジム)。

金髪に髪を染めた雄基のスタートはいつものフットワークを使わず1ラウンドから打撃戦となった。その流れは6ラウンドまで変わらなかった。パンチ数は相手の阿知和選手の方が多く、雄基は押されぎみである。

2ラウンドには福本はバッティングにより鼻血を出し苦しい展開となった。3ラウンドに阿知和選手が、4ラウンドには雄基がバッティングで右目を切り、6ラウンドに雄基は左目もバッティングで切り流血の戦いである。7ラウンドから雄基は本来の足を使っての出入りのボクシングを展開した。こうなれば相手はついてこれられない。ラストラウンドも同様な展開となり、判定結果は2:1(77:76,75:77,78:74)の判定勝利。判定勝利の声に雄基は不甲斐なさに悔し涙を流した。



7月23日 後楽園ホール

岩井 大 TKO勝ち(7/23)

7月23日、セミファイナルに58kg契約で岩井大が登場した。対戦相手は平山悦久選手(8勝3KO5敗:ONE・TWOスポーツジム)。

大は1ラウンドから次々にパンチを平山選手に当てていった。実に正確に打っている。無駄なパンチを打たない、ということが大の今試合のテーマだが、それを実践している試合だった。



大は「蝶のように舞い、蜂のように刺す」というボクシングを目指しているが、冷静な試合展開と獲物を狙うような眼差しは、まさしくハンターとしての

ものであった。5ラウンド、2分42秒でTKO勝利だった。

三谷会長のコメント

篠塚は、調子に乗ると巧いと思う。これから連勝街道まっしぐら。それには、もう少し練習かな、という課題がある。

福本は、押されていたけどパンチはもらっていない。熱もあって体調が悪かったけれど、最後の7、8ラウンドに足を思い出してくれて動いた。よくやった。

大は、言われた通りにやった。右アッパー、右ストレートで倒して欲しかったけれど、まあ100点満点だね。



ごんごちゃんは見えた!!

ボクサーという名のアスリートは如何に相手の肉体に打撃を与えるのかという競技上の特殊性ゆえに、他のスポーツ選手と比較して選手生命が短い。その短い時間に世界のトップを目指すゆえに、それこそ目の色を変えて、心(精神面)・技(技術面)・体(肉体面)を鍛えることが必要となる。怠け癖という自己との戦い、単純な練習の繰り返しという地道な戦いにも勝たねばならない。その基礎の上に立って自己自身のビジョンを明確に掲げ、その実現に向け日々の節制を自らに課すことになる。その厳しさの中で練習が楽しく感じられ、スティックな生活を楽しむことができたなら、心技体の進化も努力する時間に比例するだろう。それはひとえに自己の決意力にかかっている。

三谷大和ジムみんな! 夢に向かって前進しよう!

篠塚和也 判定勝ち(7/23)

7月23日、第2試合にフェザー級で篠塚和也が登場した。対戦相手は大島圭五選手(デビュー戦:輪島功スポーツジム)。



前回、負傷判定で敗れた篠塚の第2戦。左右フック、右アッパー、右ストレートで1ラウンドから激しい打ち合いとなった。

2ラウンドには大島選手の左目ははれ始めたが、前半は篠塚、後半は大島選手という展開だ。

3ラウンドでは足を使って距離を取りたい篠塚だが、大島選手は接近戦で出てくるが鼻血を出している。篠塚は疲れが出たのか押されぎみである。最終4ラウンドも同じ展開で、判定結果は2:1(39:38,38:39,39:38)でプロ初勝利。篠塚は男気のあるボクサーである。練習をしっかりと積んで前進しよう。

第67回 東日本新人王トーナメント戦 林 涼樹 判定勝ち(7/29)

7月29日、林涼樹は東日本新人王2回戦に登場した。対戦相手は道見和也選手(2勝1敗1分:JBSPORTSジム)。



涼樹は、第1回戦は鮮やかな右ストレートのワンパンチでダウンを奪い、その後のラッシュでTKO勝ちだったが、今回は緊張しているように見えた。初回から身体の動きがぎこちない。それでも左を大きく回しながら相手との距離を取り、速いノーモーションの右ストレートが顔面に

炸裂するシーンがたびたび見られた。4ラウンド終了時、道見選手の右目はお岩さんようになってしまった。4ラウンド判定結果は3:0(40:36,40:37,39:38)の判定勝ちで9月27日の準決勝戦に駒を進めた。

スケジュール

9月27日 林涼樹 東日本新人王準決勝戦

編集後記 強いボクサーはみんな美しい。強くなるたびに美しく進化し輝いていく、と言いかえた方がいいだろうか。しかし、見えないところで日常生活の節制、弛まない厳しい練習、その成果が正直に出るのが試合結果である、というのも事実だと思います。